

## 舌の痛みや乾きは麦門冬を含む処方

**Q** 五十五歳、女性。数年前から舌がヒリヒリ痛

みます。赤くただれた感じで、ひびが入っているような気がします。口やのどが乾燥して水分を含みたいのですが、飲みたくはありません。目も乾き、眼科でドライアイの薬をもらっています。ただし諸検査では異常なしでした。漢方ではどんな薬がよいでしょうか。

**A** 舌の違和感や痛みで私どもの外来を受診する患者は少なくない。漢方では口乾（口が乾くが水分は欲しない状態）と口渇（のどが乾き水分を多量に飲みたがる状態）は分け、それぞれ処方が異なる。

質問者の場合は口乾に相当する。まず試みる漢方薬は麦門冬湯（ばくもんどとう）や釣藤

散（ちやうとうさん）、清熱補氣湯（せいねつほきとう）など、麦門冬を含む処方である。

麦門冬はユリ科ジャノヒゲの根を乾燥したもので、舌や口、目、気道などの乾燥によって引き起こされる症状によく使われる。人間の組織の水分保持能力は年齢とともに低下するので、この症状は中高年の方によくみられる。

もし口の苦みや寝汗などがあれば柴胡桂枝乾姜湯（さいこけいしかんきやうとう）がよい。ストレスなどが関与している場合、香蘇散（こうそさん）や半夏瀉心湯（はんげしゃしんとう）なども使われる。その他、舌が赤く亀裂が強い場合は清熱補血湯（せいねつほけつとう）や甘露飲（かんろいん）といった舌を潤して痛みや不快をとる処方もある。